

<h2 style="text-align: center;">月度個人山行報告書</h2>		報告者	鐺木博美	参加 メンバー	CL: 岸上、飯谷、伊藤 (千)、鐺木
		報告日	090708		
山域	大峯山脈	山行日	09年06月21日(日)		
山名	八経ヶ岳、弥山				

山行目的	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

09年06月21日
(曇り)
6:05 登山口発
7:04 出合(1本)
7:15 出合発
7:30 弁天の森(通過)
7:57 聖者の像(通過)
8:00 1本
8:50 弥山 1895m 着
1本
9:05 弥山発
9:34 八経ヶ岳
1914m 着
少しガス有り

9:55 八経ヶ岳発
10:23 弥山小屋
(通過)
10:45 1本
11:17 弁天の森
1本
11:45 出合 (1本)
12:00 出合発
13:00 登山口戻り

13:30 温泉着
14:30 温泉発

19:00 刈谷戻り

〈山行報告〉連日の天気予報で雨と聞くも、雨対策も万全に刈谷を20日(土)18時出発。高速で行ける所まで進み(3時間)、残りの道程(3時間、100km)は山道を進んだ。途中、鹿4頭と出くわすほどの峠越えの道は、完全1車線の酷道でした。八経ヶ岳(八剣山)は、標高1915mの近畿地方の最高峰で、日本100名山のひとつ。登り口である行者還トンネル西口には10台くらい車を停めるスペースがあり、私たちが夜中の12時に到着した時、既に2、3台先客がありました。翌朝6am起床。運良く曇り。準備中3partyほど先を越される。登り始めて少しの間は平らで、橋を渡ったら稜線(大峰奥駆道出合)までの55分間の登り。結構な急登でした。非常にハエが多かったので私はバンダナで顔を覆いました。標高1500mくらいから雲の中に入りました。道は昨夜の雨で泥濘。木々にはコケが分厚く生い茂っていて、この山域に雨が多い事がうかがわれました。登山道は階段や木道が整備されて歩きやすかった。オオミネソウの開花には2週間ほど早かったが、蕾が沢山見られました。しばらくして弥山到着。他にも大学生のpartyなど4partyほど居ました。写真を撮り、八経ヶ岳を目指しました。途中で伊藤さんがストックを弥山に置き忘れて

れしまった事に気づくと、岸上CLが取りに戻ってくれました。無事
八経ヶ岳登頂。写真を撮り長めの1本。2partyと会う。雨を心配し9:

フリースペース

55に下山を開始。下山時は誰にも会わなかった。雨に降られず無事行者還トンネル西口まで戻る。帰りは奈良県川上村の「杉の湯」で45分休憩し、途中高速道路で事故渋滞にあうも明るいうちに刈谷へ戻れた。



〈リーダー所見〉

女性3人と登る掛け替えの無い登山でした。やはり、梅雨ということもあり、天候を心配していましたが、何とか天気もってくれて何より、ルートの的には大変判りやすく、歩きやすいため、例会などにも使える山と感じました。女性陣:お疲れ様でした。

確認
(リーダー)
岸上
08/07/08
作成
報告者)
鐺木
09/07/08